

岐阜県立多治見高等学校 創立100周年記念事業

募金趣意書



厳しい暑さに加えコロナ禍の中ではございますが、同窓生の皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は多治見高等学校へのご支援ご協力を賜りまことに有り難うございます。

また、2017 (平成29) 年3月第89回選抜高等学校野球大会に21世紀枠として甲子園出場した際には、暖かい激励のお言葉とともに過分なご支援をいただきましたこと、書面をお借りして改めて感謝しお礼申し上げます。さて、私たち岐阜県立多治見高等学校は本年2022 (令和4)年に創立100年を迎えることとなります。つきましては、多治見高等学校同窓会、育友会、学校の三者が一体となり、「創立100周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、翌2023 (令和5)年に向けて「創立100周年記念事業」を盛大に進めるべく取組みを始めました。

学校創立当初を振り返りますと、当時は全国的に教育、特に女子教育への関心が高まっており、地元の強い要望を受けて、1923 (大正12) 年4月に多治見高等女学校がこの桔梗ヶ丘の地に開設されました。こうして誕生した多治見高等女学校は地域住民にとって憧れの対象となり、数多くの人材を輩出して人々の期待に応えました。県下有数の学校として名を馳せることとなったその背景には、創立当初の二人の大きな存在がありました。初代竹本(猫山)常蔵校長先生は東京高等師範学校を卒業され、生徒から大いに信頼され慕われた存在でした。また教育における樹木の有用性を提唱され、校舎を取り巻く樹木は現在も県下屈指を誇っています。

1923 (大正12) 年9月1日、首都圏を直撃した関東大震災が関東地方に多大な被害をもたらした時、帝都復興院総裁として活躍されたのが、後籐新平氏(元東京市長)でした。震災には全国的な支援の手が差し伸べられ、開校間もない本校女学生も全校一丸となり、物心両面の救援慰問を行いました。

後籐新平氏は1923 (大正12) 年と1926 (大正15) 年に東濃の地を訪れています。その時に地元の有志の方々を通して本校女学生及び学校関係者に謝意の表明とともに「啓発知能 成就徳器」(知能を啓発し、徳器を成就す)の書を揮毫され、贈呈されました。現在、その書は本校の会議室に掲げられており、100年にわたって、私たち学校と学生の指針となっています。

その後、本校は幾多の変遷を経て、現在の岐阜県立多治見高等学校となりました。「進取・努力・創造」の教育目標を掲げ、真の人間教育とグローバルな視点を持った人材育成に取組み、生徒の進路目標の実現にも力を注ぎ、大きく実績を伸ばしてきました。学業と部活動の両輪を重視し、「一人一人の文武両立」のスローガンを立ち上げ、更には学問・進路を追究する「探究の時間」を充実させ、生徒自らが生きる力を蓄えながら次のステップへ確実に足を踏み出せるよう取り組んできました。卒業生は、地元をはじめ日本全国や海外で活躍し存在感を示しています。

そうした中、2017 (平成29) 年3月には第89回選抜高等学校野球大会に出場するという快挙を成し遂げ、また地域課題探求学習において、自然科学部を中心をした地域探究部の令和元年「第八回イオン エコワングランプリ」内閣総理大臣賞表彰、2021 (令和3) 年「地域学校共同活動推進」文部科学大臣表彰など大きな成果を上げています。

こうして本校は時代の流れに翻弄され、幾多の変遷を辿りながらも発展してきました。この100年の間には、約2万9千名の同窓生一人一人が心の内に、本校への確かな思いを抱いて過ごしてきています。私たちは、こうした歴史と伝統ある多治見高校の100周年記念事業を、同窓生一同の期待に応えるべく取り組んでいく所存でいます。

同窓生の皆さま、この100周年記念事業が過去の100年を振り返る節目となるとともに、次の100年への大いなる飛躍となるように総力を挙げて取り組もうではありませんか。そして、皆さまのお力添えにより、この100周年事業をぜひとも成功に導いていただきたいと切に願うものであります。

岐阜県立多治見高等学校 創立100周年記念事業 実行委員会





創立100周年記念事業の主な内容

1 記念式典 令和5年11月11日(土) 開催予定 場所:バロー文化ホール

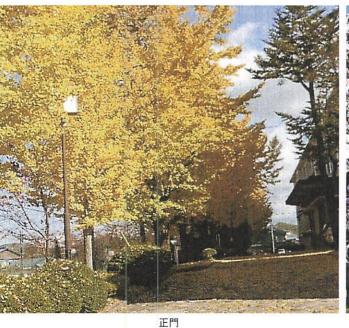
2 多治見高校奨学金制度の確立

多治見高校の生徒のための奨学金制度を開始するため、平成29年3月に太陽光発電設備を完成させました。令和5年度より、本太陽光発電設備の売電収入を奨学金のための資金として生徒に支給していきます。

- 3 **創立100周年記念誌発行**(令和6年3月発行予定) 100年の歴史が詰め込まれ、記念式典の模様も入った記念誌を作成します。
- 4 歴代校歌 C D 作成

創立90周年記念事業として、歴代校歌演奏CDを作成しましたが、今回は合唱部OBを中心に歌詞の入った、歴代校歌完全版CDを作成します。

- 5 創立100周年記念名簿作成
- 6 多治見高校同窓会ホームページ作成
- 7 創立100周年記念高校野球招待試合 対戦相手 報徳学園高等学校





甲子園応援風景(応援優秀賞)

目標額 2,500万円

募金額

1口 5,000円

(複数口のご協力をお願いいたします。1口以上の場合金額は自由とさせていただきます。)

募集期間

令和4年12月から令和5年12月まで

※募金をしていただいた方にはお名前を寄付者銘板に載せさせていただき、桔梗会館に掲示させていただきます。

募金方法

- *個人名義の場合(以下の三種類の方法をご利用いただけます)
- ゆうちょ銀行での払込み

「募金趣意書」に同封した<mark>
・郵便局専用</mark>

の振込用紙を利用して「<mark>募金」に○を付け</mark>払込手続きをお願いたします。払込手数料は実行委員会が負担します。

指定金融機関 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00210-4-109908 口座名 多治見高等学校創立100周年記念事業実行委員会

2コンビニ決済での払込み

「募金趣意書」に同封した<コンビニ等払込専用>の振込用紙を利用して払込手続きをお願いいたします。払込手数料は実行委員会が負担します。払込金額は5,000円か10,000円のいずれかの金額に固定されます。

③スマートフォンアプリでの払込み

PayPay、LINEPay、auPay、Payb により〈払込票のバーコード〉を読み取ってご入金いただけます。決済システムを(株)サラトに委託しておりますので、決済画面に「サラト」と表示されます。

- *法人名義の場合(振込のみで金額は自由です)
- ●同封の振込用紙にて下記口座にお振込をお願いいたします。

東濃信用金庫 本店営業部 普通 1383419

大垣共立銀行 多治見支店 普通 567065

十六銀行 多治見支店 普通 1844650

三菱UFJ銀行 多治見支店 普通 0419415

陶都信用農協 多治見支店 普通 0040865

口座名義 多治見高等学校創立100周年記念事業実行委員会 会長 小栗 孝一

※募金の会計報告は同窓会ホームページにてご報告させていただきます。

多治見高校同窓会ホームページ URL https://takou-dk.jp 同窓会ホームページQR ➡



創立100周年記念誌購入のご案内

【購入方法】

「募金趣意書」に同封した<mark>郵便局専用</mark>>の振込用紙を利用して<mark>「記念誌」に○を付け</mark>払込手続きをお願いいたします。

【金 額】 1 冊 3.000円 ※記念誌は令和6年3月発行予定。予定発行部数1.000部

連絡先

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町9-141 岐阜県立多治見高等学校内 岐阜県立多治見高等学校創立100周年記念事業実行委員会 事務局 TEL 0572-22-4155 FAX 0572-25-1704

多治見高等学校 校訓

進取努力創造

多治見高等学校の歴史

岐阜県多治見高等女学校

大正12(1923) 岐阜県多治見町立高等女学校設立認可

昭和23(1948) 岐阜県多治見女子高等学校と改称

多治見市立高等女学校

大正15(1926) 私立豊岡裁縫女学校設立認可

昭和23(1948) 岐阜県多治見市立女子高等学校と改称

岐阜県多治見中学校

昭和15(1940) 多治見中学校設立認可

昭和23(1948) 岐阜県多治見高等学校と改称

岐阜県立多治見高等学校

昭和23(1948) 3校が統合し岐阜県立多治見高等学校となる

昭和35(1960) 岐阜県立多治見女子高等学校と校名変更

昭和55(1980) 岐阜県立多治見高等学校と校名変更

男女共学となる

平成 9 (1997) 自然科学コース設置

平成29(2017) 第89回選抜高校野球大会へ21世紀枠として初出場

平成30(2018) 自然科学コース募集停止 単位制を導入

令和元(2019)「第八回イオンエコワングランプリー内閣総理大臣賞表彰

令和 3 (2021) 「地域学校共同活動推進 | 文部科学大臣表彰

令和 4 (2022) 創立100周年を迎える

2021 秋 高社山より多治見市内全景

